



12月おいた 経理だ!より

記載責任者 学校長 木本俊之
連絡先
大分市錦町三丁目7番28号
☎097-534-6625

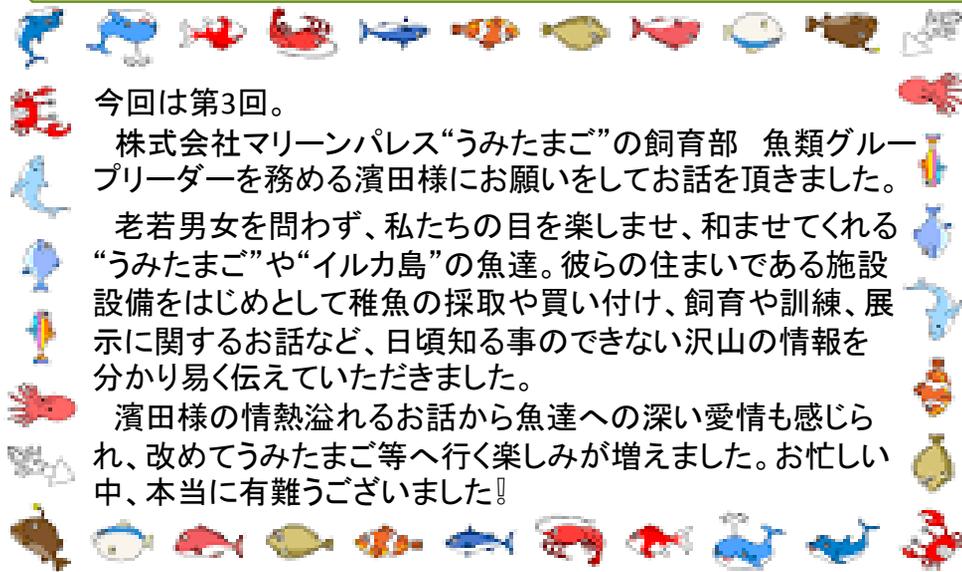
一般社団法人由布学園 専修学校大分経理専門学校 2019.12.10

第3回目 Boss Seminar 開催



Boss Seminar とは・・・

各界の経営者やリーダーを招聘し、学生や一般の方を対象に講話を頂きます。学生が授業の一環として企画・運営を行い、セミナー講師の依頼から聴衆参加に関する事、必要経費など、開催に関する全ての実践から多くを学びます。



今回は第3回。

株式会社マリンパレス“うみたまご”の飼育部 魚類グループリーダーを務める濱田様をお願いをしてお話を頂きました。

老若男女を問わず、私たちの目を楽しませ、和ませてくれる“うみたまご”や“イルカ島”の魚達。彼らの住まいである施設設備をはじめとして稚魚の採取や買い付け、飼育や訓練、展示に関するお話など、日頃知る事のできない沢山の情報を分かり易く伝えていただきました。

濱田様の情熱溢れるお話から魚達への深い愛情も感じられ、改めてうみたまご等へ行く楽しみが増えました。お忙しい中、本当に有難うございました!



薬物乱用防止教室が実施されました

留学生の感想

- ・身の回りにこんな薬物があると知り、とても怖かったです。生活の中で気を付けます。
- ・自分でルールを守り、良い生活をしたいです。
- ・薬物について全然知りませんでした。
- ・話が難しく、早くてよくわかりませんでした。

- ・薬物の怖さは健康面だけでなく、裏社会の収入源となっているという事を改めて認識しました。強い意志を持つ事と、こういった意識は重要だと感じました。
- ・これまで薬物依存など遠い存在のように感じていましたが、私たちの身近にも迫っている事に危機感を覚えました。
- ・薬物乱用の話は何度も聞きましたが、何度聞いてもその度に恐怖で手が震えます。どんなことがあっても必ずNOと言える意志だけは持っておこうと思いました。

薬物のない学生生活のために
～薬物の危険は意外なほど身近に迫っています～



大分県福祉保健部薬務室主催

日本人学生の感想

大分経理の先生から本校を目指す方へのメッセージ



簿記は経理担当者だけではなく、社長など経営管理者にとっても必須であり、経済の動向をつかむことや経営戦略の判断など、営業・販売といった職種にも適応できる幅広い知識です。

数字が苦手、初学者だけど大丈夫か?という質問をよく受けますが、簿記の流れを最初からしっかり学んでいきますので、心配なくて大丈夫です。

興味がありましたら、一度当校の授業をご覧になってみてください。よろしくお祈りします。



経理主任 山村先生



12月 12月のおおいた 経理だ!より

記載責任者 学校長 木本俊之
連絡先
大分市錦町三丁目7番28号
☎097-534-6625

一般社団法人由布学園 専修学校大分経理専門学校 2019.12.10



- 1日 社会福祉簿記検定
- 4日 パソコン経理科(中津①) 訓練修了
- 7日 電卓能力検定
- 8日 短大併修科 科目試験
- 12日 パソコン経理科(大分⑤) 訓練開始
- 14日 学校説明会 PC会計検定
- 17日 社会への旅立ちセミナー 労働法セミナー
- 19日 大分市議員との意見交換会
- 20日 パソコン基礎科(大分②)中高年コース開講
- 21日 学校説明会 留学生入学試験
- 27日 仕事納め



【LEONE】

現在大分市では、OAB、別大興産、明治安田生命、西日本電線、大分合同新聞が積極的にフットサルに協賛しており、大分県内の企業や同好会チームを集めて大会を行っています。

LEONEはこれらの大会で活動しているチームですが、今年4月からは大分県サッカー協会が主催する大分市リーグにも参戦しています。

上記協賛企業主催による各リーグ・カップ等が、年間に8回程度実施されますが、この時にレオネは本校の名称が入ったユニフォームを着て本校名入りのフラッグを掲げて参戦しています。



また、1日に2回アップするInstagramには毎回200名以上の方がフォローしているという事ですが、この中でも本校の最新情報を常に収集しインスタにアップして本校の広報活動を行っています。

現在、フットサルチームには県内企業の若手を始め、APUや文理大学生、専門学生などが多く、基本的に10代後半~30代までが在籍しているという事で、学生や若手社会人に対して本校のPRが進んでいます。

チームに頂いた、校名入りユニフォームを学校掲示板に！



創刊号から1周年記念！



学校新聞を発刊して7年を経過しました。
この間、皆さまや学生諸君から、沢山の意見や情報を頂き、掲載させていただきました。おかげさまで持ちまして、紙面も徐々に充実してきているように自負しております。今後とも、多くのご意見をお待ちいたしておりますので、よろしくお願いいたします。



学校新聞に対するご意見をお聞かせ下さい。お待ちしております。✉ info@keiri.ac.jp